

平成30年9月18日

保護者様

新宿区立落合第三小学校

校長 新井 正一

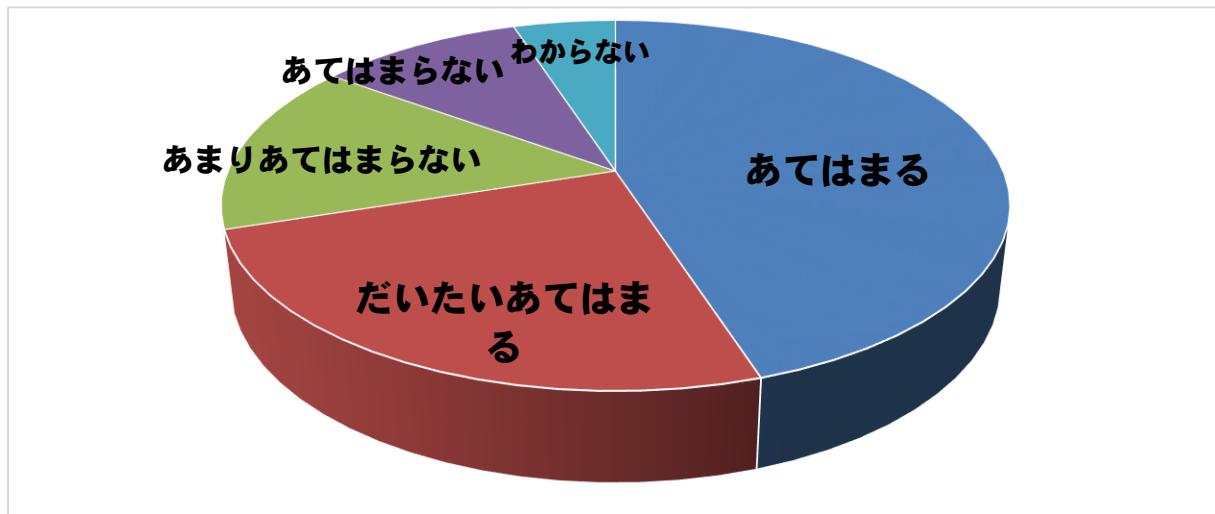
平成30年度 学校評価（中間）の集計結果について

仲秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、保護者の皆様には、1学期末に学校評価のアンケートをお願いいたしました。ご多用の時期にもかかわらず、多くの皆様にご協力いただきました。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

集計結果をまとめましたので、ご報告いたします。学校では、今回いただいた保護者の皆様からのアンケート結果や、各行事アンケート、学校公開アンケート等のご意見を踏まえ、2学期からのカリキュラムや各種教育活動の検討をしてまいります。多数のご意見をいただいたものなどについては、可能な限り具体的に反映していきたいと考えています。

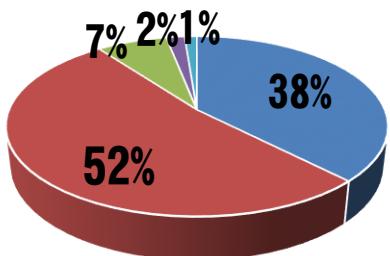
今後も本校の教育活動に、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



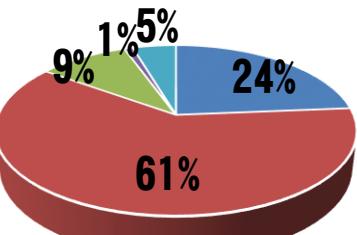
- 「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせて80%を超えた項目については、それなりに成果があったものと考えます。
- 「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を合わせて20%以上の項目については、2学期からの本校の取り組みの中でさらに工夫していく必要のあるものと考えます。
- 「わからない」の評価が多かった項目については、保護者の方々に知っていただけるよう努力していく必要のあるものと考えます。
→学校公開や保護者会、学年便りなど様々な機会で、保護者の皆様に伝わるように努力していきたいと考えております。

〈確かな学力〉

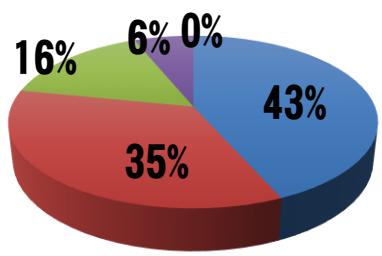
1 我が子は学年相応の学習の基礎的基本的内容を身に付けている。



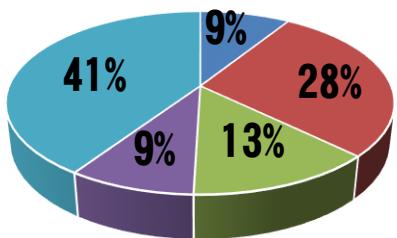
2 我が子は各授業によって「考える、話す・聞く、表現する」等の力が育ってきている。



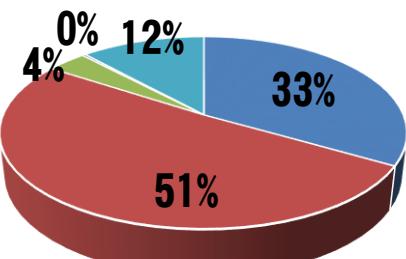
3 我が子は学年×10~15分程度の学習を、家庭で毎日行っている。



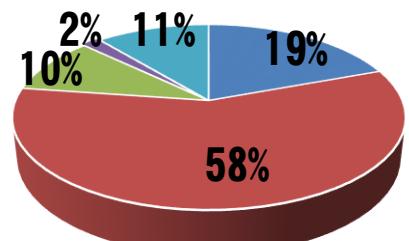
4 学校は、タブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う。



5 学校の先生は分かりやすい授業を行っていると思う。



6 通知表は我が子の学力や生活の様子がよく分かるようになっている。



⇒ 1～6〈確かな学力〉傾向と分析、2学期以降の方針について

設問1「基礎的基本的内容の定着」について、昨年度同様に概ねよい評価をいただきました。5、6年生においては、今年度実施した「全国学力・学習状況調査」「東京都児童生徒の学力向上を図るためにの調査」の結果を十分に分析し、成果と課題を踏まえたうえで授業の計画を立て実践してまいります。また、担任だけではなく、学習支援員、地域ボランティアの方々とも連携して指導に取り組んでいきます。

設問2「考える、話す・聞く、表現する力」について、概ねよい評価をいただきました。今後も国語科の学習を中心として、朝のスピーチ活動や学習内容を新聞形式にまとめるなどの活動を充実させていくことで、「考える、話す・聞く、表現する力」の向上に努めていきたいと思います。

設問3「家庭学習」においては、取り組み状況に個人差が見られます。2学期からも引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

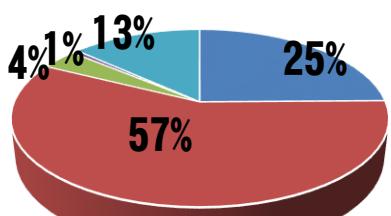
設問4「ICT機器の活用」について、昨年度に引き続き「わからない」の評価を約40%いただきました。昨年度から、全学級にタブレットパソコンが導入され、映像を活用することで学習内容の理解を促したり、児童が考えを発表するときに活用することで考え方の共有を図ったりするなど、ICT機器を活用した授業を実践しています。まだまだ活用には課題はありますが、今後も効果的な活用を追求していきたいと思います。

設問5「分かりやすい授業」について、昨年度同様により評価をいただきました。我々教師自身が、引き続き研修と修養に努め、更に「分かりやすい授業」を目指していきます。

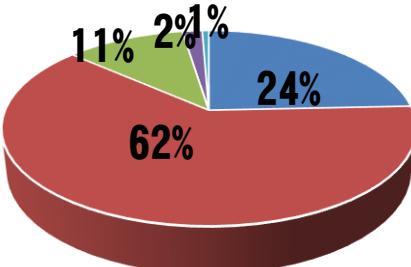
設問6「通知表」について、今年度は道徳が教科化されたことに伴い、通知表の形式が変更になりました。今後も記載内容をより一層吟味し、保護者の皆様にも学習の様子等がお伝えできるようにしていきたいと考えます。

〈豊かな心〉

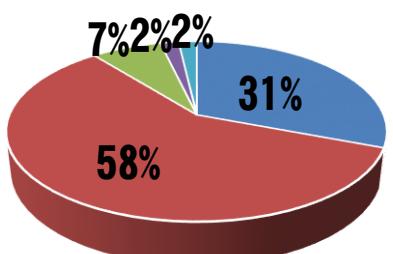
7 学校は子どもたちが互いに認め合い、進んで協力し合う豊かな人間関係をつくっている。



8 我が子はあいさつや言葉遣い等、基本的な生活習慣が身に付いている。



9 我が子は社会のルールを守る態度が身に付いている。



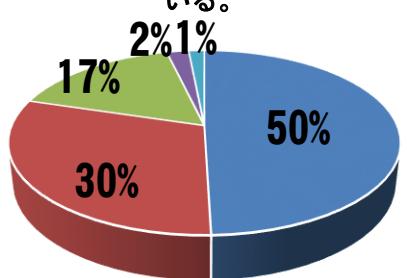
⇒ 7～9〈豊かな心〉 傾向と分析、2学期以降の方針について

設問7 今年度も昨年度に引き続き「豊かな人間関係をつくる学級活動～よりよい合意形成につながる話合い活動の工夫～」を研究主題として、全教員が研究・実践をしています。研究を通して、子ども達の実態を把握し、授業力の向上に努め、子どもたちがより一層豊かな人間関係を築いていけるように努めていきたいと思います。

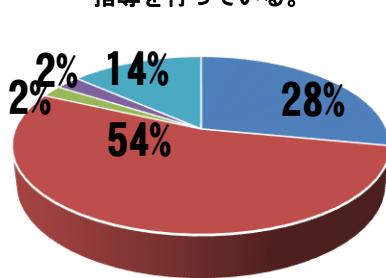
設問8・9 約9割の方に肯定評価をいただきました。今後も道徳授業を充実させたり、ふれあい月間などで子ども達の様子を十分に把握したりするなど、全教育活動で「心の内面」を大切にした指導を心がけていきます。

〈体力〉

10 我が子は体を動かすことを探しあみ、進んで運動している。



11 学校は、体力の向上、健康の増進、安全等について適切な指導を行っている。

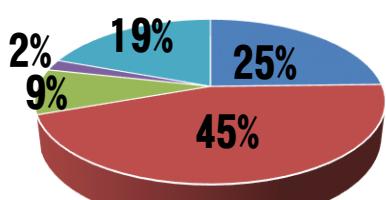


⇒ 10～11〈体力〉 傾向と分析、2学期以降の方針について

概ねよい評価をいただきました。高学年になるにつれて外遊びをする時間が少なくなったり、運動をする子としない子の二極化が進んでしまったりすることが課題として挙げられています。体育科の授業の質を向上させることで、運動の魅力を子どもたちに実感させていきたいと思います。また、学校独自の体力向上に向けた取り組みもさらに充実させていきたいと思います。

※学校独自の取り組み例：朝遊び、放課後遊び、落三ギネス、マラソン週間、長縄大会等

12 学校のいじめ等への対応は信頼でき、子どもにいじめやいじめの疑いがある時には学校に相談している（するつもりだ。）

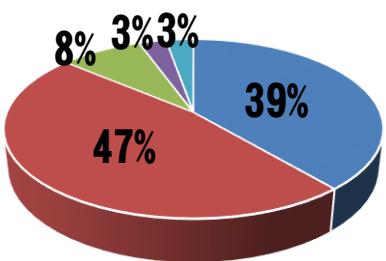


⇒ 12〈相談〉 傾向と分析、2学期以降の方針について

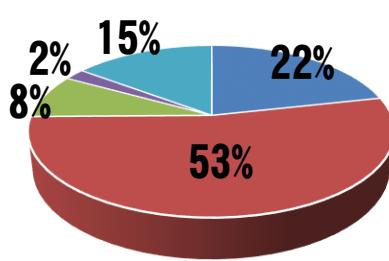
70%の方に肯定的な評価をいただきましたが、80%には届いておらず、「わからない」の評価も19%いただいております。このことを真摯に受け止め、2学期以降はより一層ご家庭と連携を密にとっていきたいと考えています。引き続きご協力ををお願いします。

〈連携〉

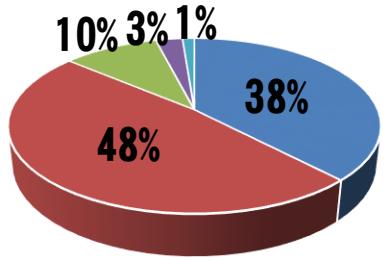
13 あなたは携帯電話やインターネットの適切な利用についてルールを決め、我が子に伝えている。



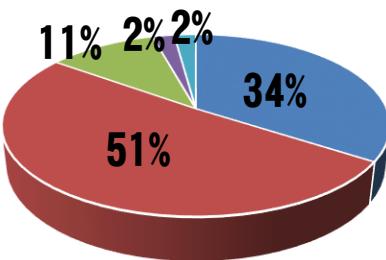
14 学校は、子どもが学校にかかる地域の人と一緒に活動する機会をよくつくっていると思う。



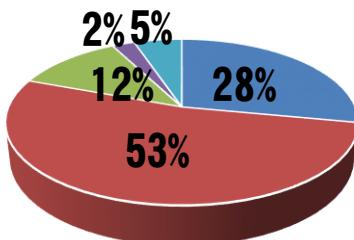
15 学校は子どもの様子を保護者会や学校便り・学年通信等でよく伝えている。



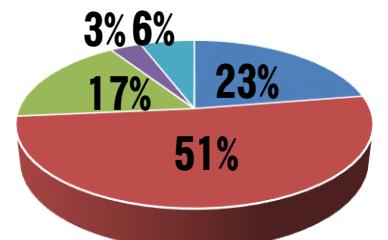
16 あなたは保護者会に参加したり学校便り等を読んだりして、学校と連携を図っている。



17 あなたは保護者会に参加したり、学校行事等を参観したりすることを通して、担任等の先生方と話しやすい関係を築いている。



18 あなたは、保護者会やPTA活動等で保護者同士でも互いに話しやすい関係を築いている。

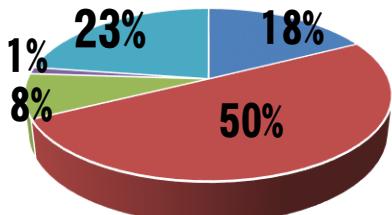


⇒ 13～18〈連携〉 傾向と分析、2学期以降の方針について

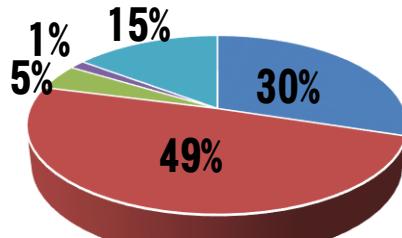
いずれの設問も概ねよい評価をいただいているが、設問14の「地域の人と一緒に活動する機会」については、「わからない」の評価を15%いただきました。今後は、地域の方々にゲストティーチャーとして学習をサポートしていただく機会をさらに設けたり、保護者の皆様に学習を参観していただく機会を設けたりするなど、子ども達が地域の方々と一緒に活動する機会を多く設けていきたいと思います。

〈特色〉

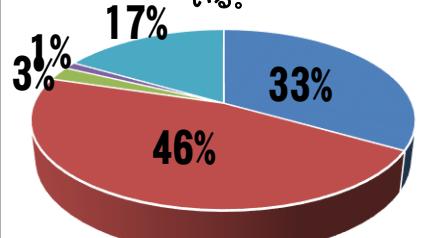
19 学校は、学校にかかる地域の人や専門家の（学校外の人）から学ぶ授業をよく行っていると思う。



20 朝読書、読み聞かせ等、読書を推進する教育活動が充実している。



21 たてわり班活動は、リーダーシップ、協調性、思いやりの心を育む教育活動として充実している。



⇒ 19～21〈特色〉 傾向と分析、2学期以降の方針について

設問19「地域の人や専門家の（学校外の人）から学ぶ授業」について、「わからない」の評価を23%いただきました。1学期には、ブラインドサッカーや日本舞踊などの体験学習、社会科の学習で地域の消防団の方々に来ていただくなど、地域の方や専門家の方から学ぶ学習をしてきました。今後もたくさんの方々にお力をお借りしながら、保護者の皆様にも参観していただく機会を設けるなど、より一層教育活動を充実させていきたいと思います。

設問20・21「読書」「たてわり班活動」について、2学期以降も引き続き本校の特色ある教育として、更に充実させてまいります。